

木の会社×コンペ

木の会社チーム

しゅう なお ゆうき わたる

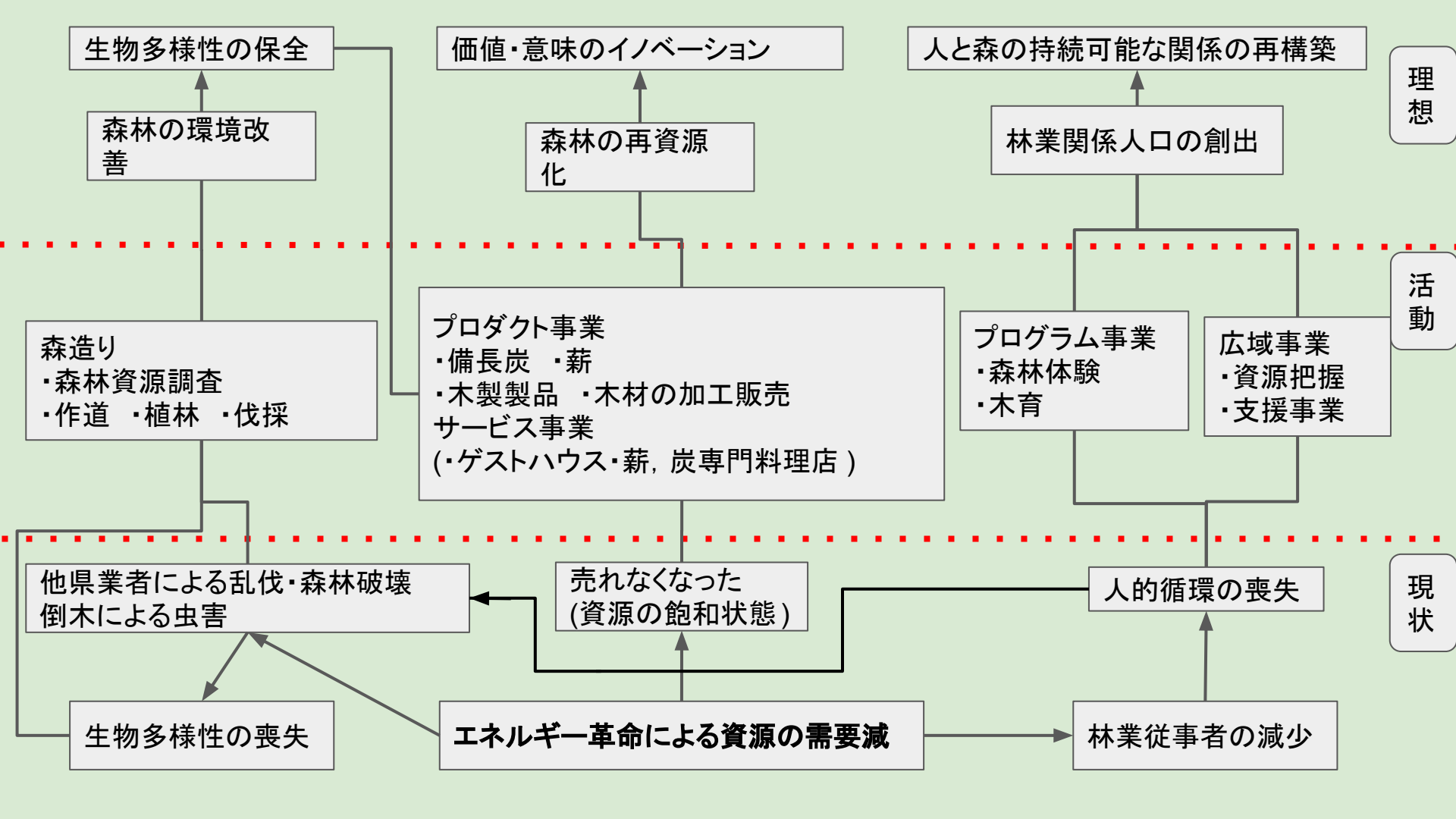




目次

- ①木の会社が抱える課題 P3~
- ②木の会社コンペについてP7~
- ③コンペの具体例 P11~
- ④コンペで得られること P19~

①木の会社が抱える課題



生物多様性の保全

価値・意味のイノベーション

人と森の持続可能な関係の再構築

理想

森林の環境改善

森林の再資源化

林業関係人口の創出

活動

森造り
・森林資源調査
・作道・植林・伐採

プロダクト事業
・備長炭・薪
・木製製品・木材の加工販売
サービス事業
(・ゲストハウス・薪, 炭専門料理店)

プログラム事業
・森林体験
・木育

広域事業
・資源把握
・支援事業

現状

他県業者による乱伐・森林破壊
倒木による虫害

売れなくなった
(資源の飽和状態)

人的循環の喪失

生物多様性の喪失

エネルギー革命による資源の需要減

林業従事者の減少

ToCから見る現状と課題

現状

課題

他県業者の乱伐や虫害 → 生物多様性の喪失

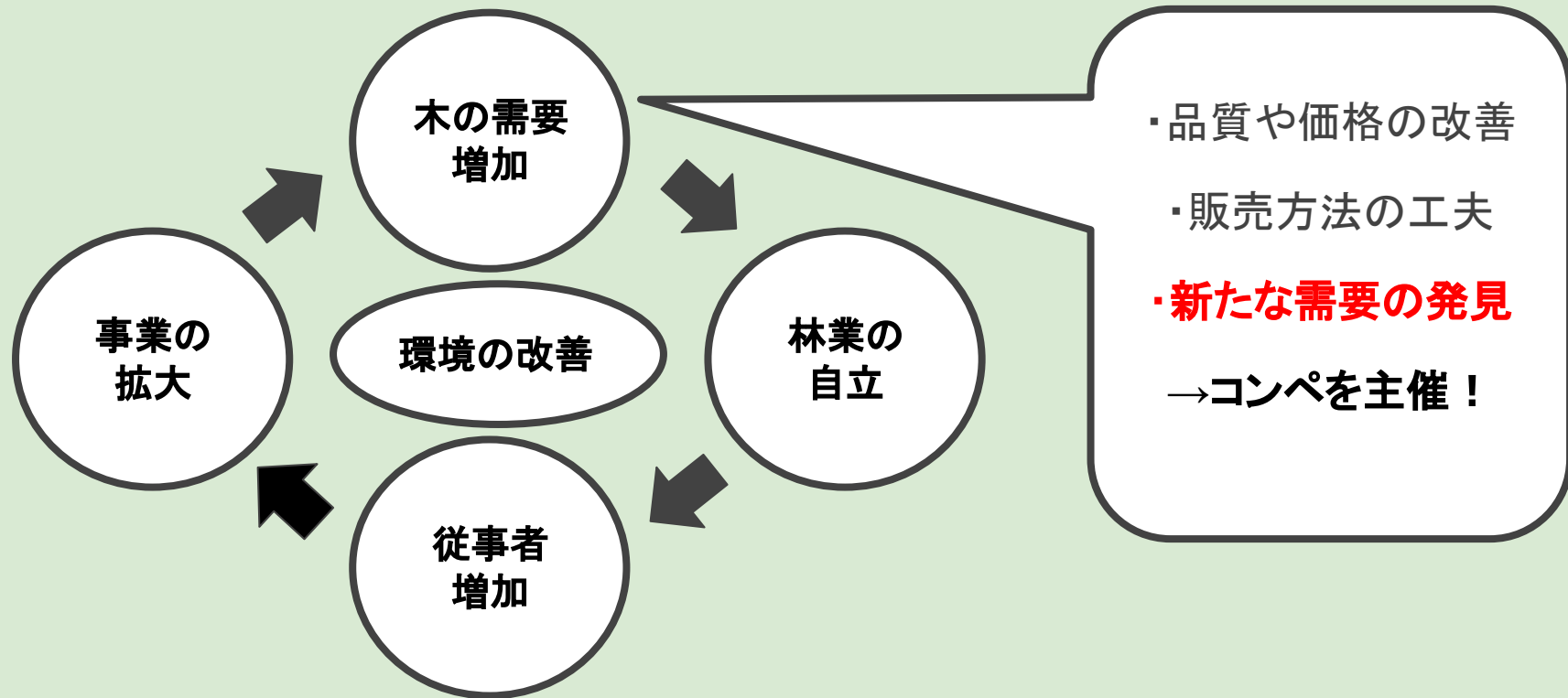
林業従事者人口の減少 → 人的循環の喪失 + 資源飽和状態

ToCから見る現状と課題

根本的な原因は「エネルギー革命による木の需要の低下」

→木の需要を高める施策が必要！

課題解決のための4ステップ





なぜコンペ形式なのか？

- ・いろいろな立場からのアイデアが得られる
- ・競い合うことでより良いアイデアが生まれる
- ・多くの主体を巻き込むことができる

②木の会社コンペについて



森林コンペ

→木の会社が主催して、年一回森林問題に関する様々なテーマを募集するコンペ

①コンペ企画

テーマの決定
協賛先の募集
アイデアの募集
第一審査



②コンペ当日

アイデアの
発表
第二審査
結果発表



③コンペ後

優秀なアイデア
の実現化

コンペの企画

①コンペ企画

テーマの決定
協賛先の募集
アイデアの募集
第一審査

森林問題に関するテーマの決定



企業や行政などの協賛先の募集



学校に向けて募集&ウェブで一般に向けて公募



第一審査(コンペ出場案の選定)



コンペ当日

②コンペ当日

アイデアの
発表
第二審査
結果発表

第一審査通過者によるアイデアの発表



第二審査(受賞案の決定)



受賞者発表(複数の賞あり)



コンペ後

最優秀賞受賞アイデアを協賛企業・行政が実現に取り組む

③コンペ後

最優秀賞以外に各協賛先が選出する賞なども授与

優秀なアイデア
の実現化



協賛先のモデル

コンペのテーマに沿った企業・団体を選ぶ

CSRに積極的な企業に持ち掛ける



コンペの規模

初めは徳島県内

その後

規模を大きくする

+回数を重ね, 協賛先を増やしていく

(例) 徳島県→四国地方→関西圏→全国

③コンペの具体例



(1) 徳島県内コンペ

コンペテーマ: 新しい木の使い道

募集期間: 8月1日から8月23日まで

対象: 徳島県内の小中学生



(1) 徳島県内コンペ

協賛先: 次のスライドで説明

開催日・結果発表: 8月31日



BIG Will

株式会社ビッグウィル

天然木を使用したシートや紙の製造販売企業



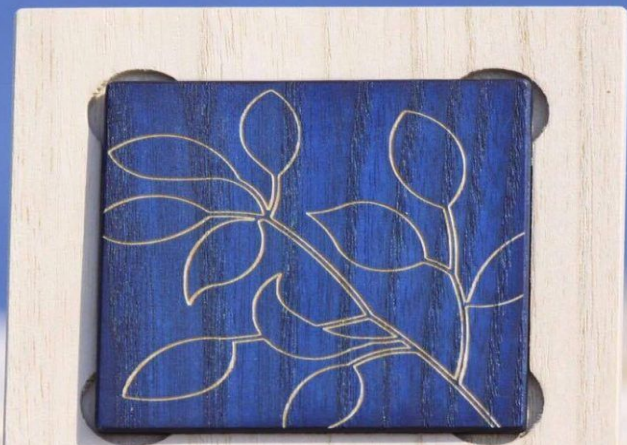


NC takashima

藍染 wood



木工雑貨の製造販売企業



製材および木材加工を行う企業

我々は木材を通じて、改良、改善、開発を
たゆまぬ情熱と努力により実行してゆきます。
山口製材株式会社





(1) 徳島県内コンペ

イメージ

日和佐小学校の5年生のアイデア

「木製のエコバック」が受賞



BIGWillの技術を活用し実現化する



(2) 関西圏コンペ

コンペテーマ: 備長炭の使い道

募集期間: 8月1日から9月23日まで

対象: 大学生・一般の人



(2) 関西圏コンペ

協賛先：次のスライドで説明

開催日・結果発表：10/31

活性炭事業部があり、製品開発に取り組んでいる

● Corporate Slogan

みつける、
こたえる、
かなえる、
ケミカル。

間伐材などを利活用，炭のポテンシャルを追求

最新のテクノロジーで
地域循環型社会の実現
農産物を再び農業へ

(2) 関西圏コンペ

イメージ

神戸大学の学生のアイデア

「静電気が発生しない備長炭ヘアゴム」が受賞



大阪ガスケミカルの技術開発により実用化に成功

④コンペで得られること



コンペを主催することで…

- ① 多くの人に森林課題を考えてもらえる
→木の会社の認知度UP

④コンペで得られること



コンペを主催することで…

②森林資源の新たな需要の発掘

→林業の収益に貢献



コンペを主催することで・・・

- ③産官学＋ボランティア法人が交わる接点に
→多くの主体の協力・つながりを得られる



ご清聴ありがとうございました